



# 与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～  
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

10月号

令和7年9月30日

さいたま市立与野本町小学校

たくましい子

～プチ失敗のすすめ～

校長 小野圭司

本校の学校教育目標の一つに「たくましい子」があります。9月の終わりに運動会の練習が始まりましたが、子どもたちは練習を重ねる中で、心も体もたくましく成長しているように感じます。

8月28日（木）に実施した5年生の館岩自然の教室説明会では、私から「お子さん自身に主体的に準備をさせてほしい」とお願いしました。これは、持ち物の場所を把握するだけでなく、例えば持参するタオルの枚数を自分で考える力を育てるためです。目安の枚数は示していますが、「自分は汗をかきやすいから1枚多く持っていこう」といった判断ができるようになってほしいのです。日程表を見ながら、汗をかきそうな活動を予測するなど、見通しをもって準備する力を養うことが大切です。そして、自然の教室を終えた後には、「見通しどおりだった」「見通しが甘かった」など、自分の準備や行動を振り返り、次の機会に生かすことができる。そうした姿こそが、「たくましい子」の一つのあり方ではないかと考えています。

保護者の皆様におかれましては、「転ばぬ先の杖」のように、お子さんが失敗しないように準備を整えてくださることもあるかと思います。もちろん、命や健康に関わるような大きな失敗は避けなければなりませんが、小さな失敗（プチ失敗）を経験することも、たくましさ育てる上で大切なことです。

現在、運動会に向けて子どもたちはダンスや表現の演技などの練習に取り組んでいます。初めから完璧に動きをマスターしているわけではなく、プチ失敗を重ねながら「どうすればうまく動けるか」を考え、練習を繰り返しています。その積み重ねが、やがて良い動きにつながっていくのです。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、子どもたちがプチ失敗を経験できるような温かい雰囲気づくりをお願いいたします。そして、プチ失敗をしたときには、「おいしい!」「もう少し!」など、前向きな言葉掛けをしていただければ幸いです。

10月25日（土）には、学校公開として運動会を実施します。プチ失敗を重ねながら、たくましく成長した子どもたちの演技や競技を、ぜひ楽しみにしててください。当日も、もしかするとプチ失敗があるかもしれません。その際には、ぜひ「おいしい!」「もう少し!」といった声援を送っていただければと思います。家庭・地域・学校が一体となって「たくましい子」を育てる運動会となるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。